

# 鹿児島県感染症情報

## 2021年 第24週報 (6月14日~6月20日)

発行：鹿児島県環境保健センター（内容に関するお問い合わせ：健康増進課感染症保健係）

※ 感染症のホームページアドレス <http://www.pref.kagoshima.jp/kenko-fukushi/kenko-iryu/kansen/index.html>

県内の新型コロナウイルス感染症は、6月20日時点での届出総数が3635例です。「新型コロナウイルス感染症」における差別や偏見が問題視されています。過去にハンセン病、エイズ等の感染症の患者等に対するいわれのない差別や偏見が存在したという事実を重く受け止め、これを教訓として今後に生かすことが必要です。

### ～新型コロナウイルス感染症に心で負けない行動を！～



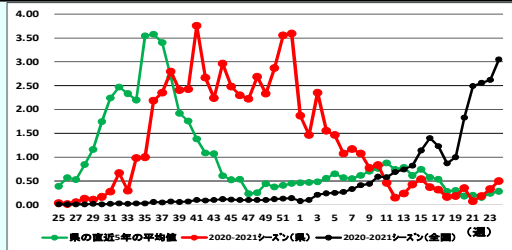
- 偏見や差別を許さない。
- デマや誤った情報に惑わされない。



新型コロナウイルス感染症のまん延に伴い、感染者やその家族、医療従事者、物流を支える運送業者等といった特定の人々への差別やいじめが社会問題化しています。また、ワクチン接種を受けていない人に対して、接種の強制や差別、学校や職場等における不公平や不利益な扱いをすることなどが無いようお願いします。様々な場面において、正しい情報に基づき、人権に配慮した冷静な行動をとっていただくようお願いします。新型コロナウイルス感染症は、誰にでも感染しうる病気です。新たなウイルスへの不安やおそれを感じることもありますが、私たち一人ひとりがお互いを思いやる心を持ち、互いを支え理解し合うことが大切です。

本県におけるRSウイルス感染症は、令和2年第36週から令和3年第5週にかけて例年よりも大きな流行がみられました。西日本においては5月以降地域的な流行がみられますので、今後の動向には注意が必要です。

RSウイルス感染症は県内の報告数をみると第22週（10人）、第23週（18人）、第24週（27人）と増加してきました。保健所別では川薩保健所（1.50）、始良保健所（1.43）、鹿児島市保健所（0.46）の順に多く、年齢別では6～11か月、1歳（それぞれ6人）、2歳、3歳（それぞれ4人）、5か月以下（3人）です。右図には本県と全国の2020-2021シーズン及び本県直近5カ年における報告数の平均値を週別で表示しています。



第24週の定点報告疾患の報告数をみると、咽頭結膜熱は川薩保健所が6週連続で、鹿児島市保健所が今週から流行発生警報域です。また、腸管出血性大腸菌感染症は第20週（2例）、第21週（2例）、第23週（2例）と報告が続いています。腸管出血性大腸菌は75℃で1分間加熱すれば死滅します。調理後の食品はなるべく早く食べきりましょう。食中毒予防の基本（菌を付けない。菌を増やさない。菌を殺す。）を守ることが重要です。

### ☆一～五類感染症(全数報告疾患)の発生状況

一類感染症	発生報告なし
二類感染症	結核3例(無症状病原体保有者3例)
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症4例(血清型/毒素型: O111/VT1(1例), O157/VT2(2例), O165/VT1(1例))
四類感染症	日本紅斑熱1例
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症1例, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例, 追加梅毒2例(第21週1例, 第22週1例), カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例(第22週1例)
新型コロナウイルス等感染症	新型コロナウイルス感染症51例

### ☆定点報告疾患の発生状況

- ・ 今週の定点医療機関は、インフルエンザ定点92、小児科定点54です。
- ・ 第24週の定点把握対象疾患の総報告数は420人で、前週より49人多い報告数でした（4頁参照）。
- ・ **流行発生警報**の基準値（開始基準値及び終息基準値）以上の保健所  
**【咽頭結膜熱（開始3.0、終息1.0）】**：鹿児島市(3.00)、川薩(1.00)
- ・ **流行発生注意報**の基準値以上の保健所  
 該当なし。

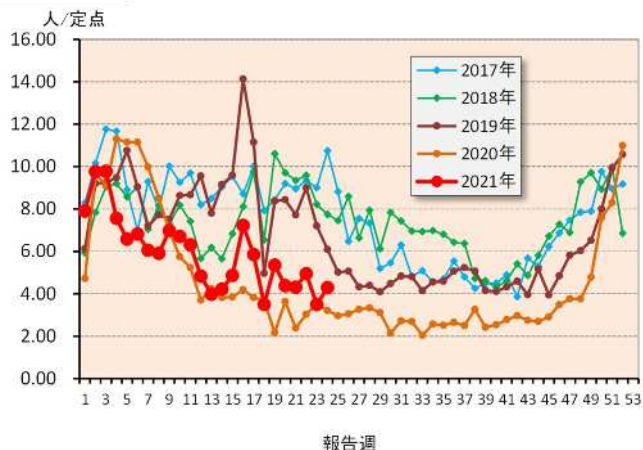
☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患の発生状況）

(1) 感染性胃腸炎

第24週の感染性胃腸炎の報告数は232人で、前週より43人多く、定点当たりの報告数は4.30であった。

年齢別では、1歳（35人）、10～14歳（29人）、3歳（26人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（8.77）、鹿屋保健所（6.60）、始良保健所（4.43）の順に多い。



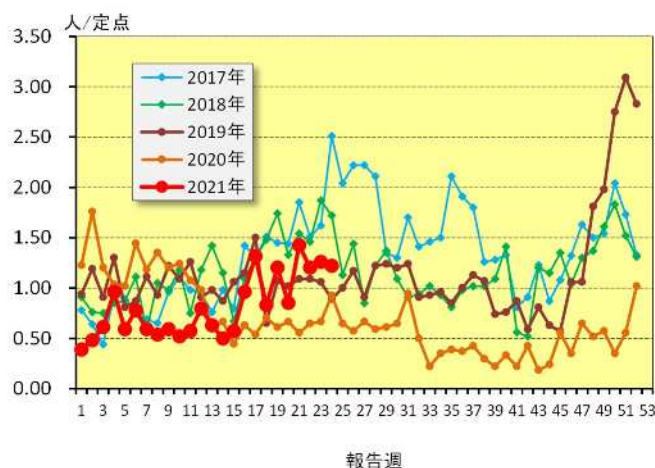
(2) 咽頭結膜熱

第24週の咽頭結膜熱の報告数は66人で、前週より2人少なく、定点当たりの報告数は1.22であった。

年齢別では、1歳（37人）、2歳（12人）、6～11ヶ月（7人）の順に多かった。

保健所別の定点当たり報告数は、鹿児島市保健所（3.00）、伊集院保健所（2.75）、川薩保健所（1.00）の順に多い。

川薩保健所が6週連続で、鹿児島市保健所が今週から流行発生警報域である。

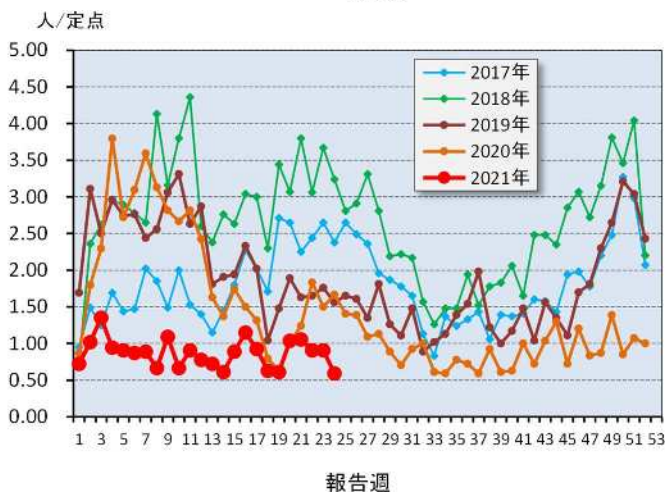


(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

第24週のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は32人で、前週より17人少なく、定点当たりの報告数は0.59であった。

年齢別では、2歳（6人）、5歳（5人）、7歳、8歳、20歳以上（それぞれ4人）であった。

保健所別の定点当たり報告数は、川薩保健所（2.00）、出水保健所（1.67）、大口保健所（1.00）の順に多い。



【 新型コロナウイルス関連情報 】

新型コロナワクチン大規模接種会場

接種対象者 県内に住所を有する65歳以上の方

会場	1回目接種	2回目接種
【鹿児島会場】 かごしま県民交流センター	6/20～7/3	7/18～7/31
【鹿屋会場】 平和公園串良平和アリーナ	6/21～6/25 6/28～7/2	7/19～7/23 7/26～7/30

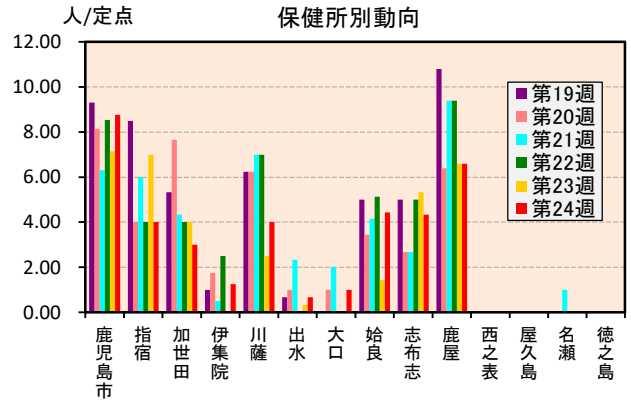
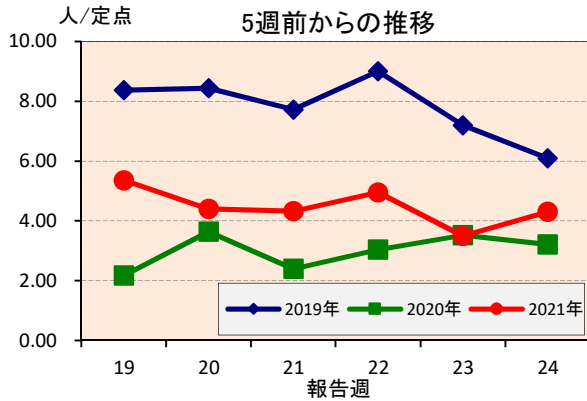
あなたの行動がみんなを守ります

- ▶ 感染拡大地域との不要不急の往来自粛
- ▶ 部活動時などの感染防止対策の徹底
- ▶ バーベキューなどのイベントに要注意

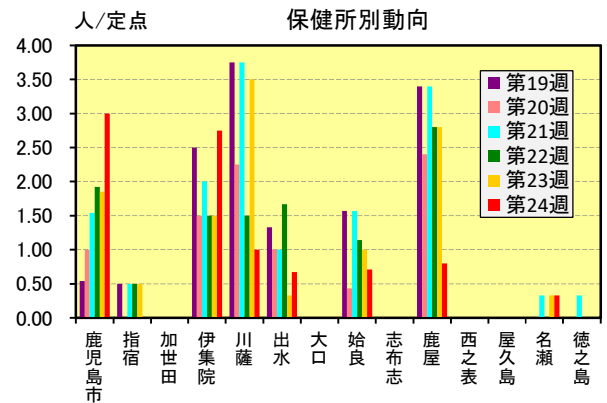
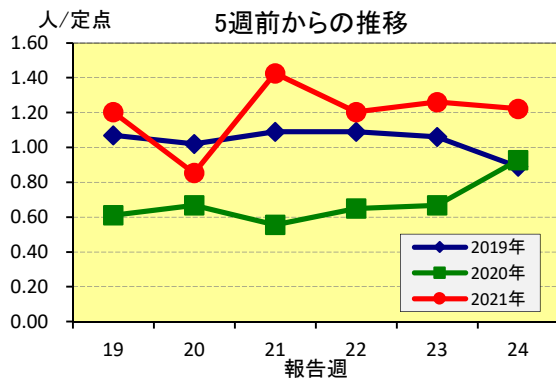
感染の再拡大を防ぐため、「感染拡大警戒期間」においても、県民一丸となって、危機感を持って、感染防止対策にしっかりと取り組んでまいりましょう。県民の皆さまのご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆上位3疾患の5週間前からの定点あたり報告数及び保健所別動向

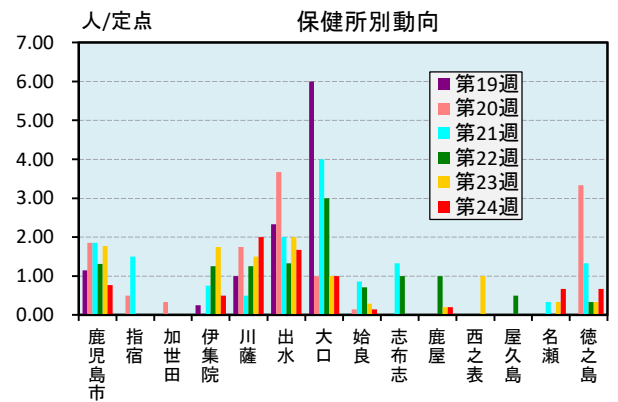
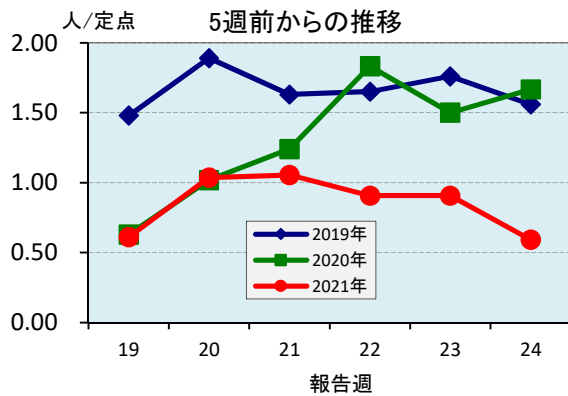
(1) 感染性胃腸炎



(2) 咽頭結膜熱

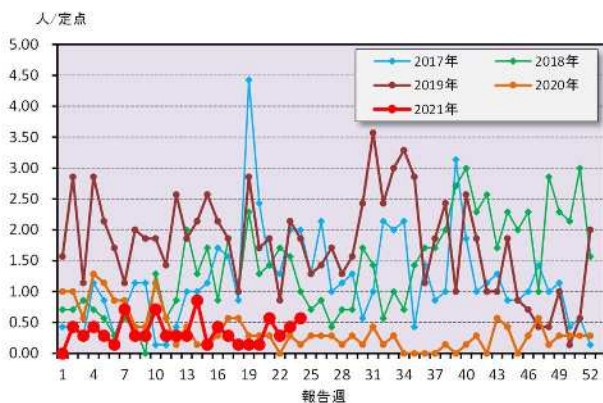


(3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

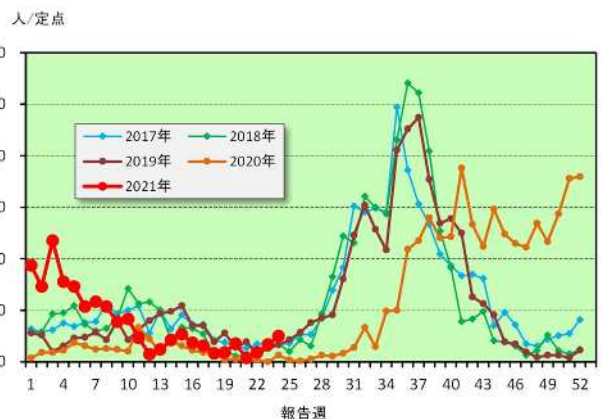


☆注目される感染症の発生状況

★ 流行性角結膜炎 (鹿児島県)



★ RSウイルス感染症 (鹿児島県)



☆定点報告疾患の発生状況

2021年	(報告週)	第24週		
定点種別	定点報告疾患	報告数	定点当り	累積報告数 (2021年)
インフルエンザ定点 (内科・小児科定点)	インフルエンザ	-	-	6
小児科定点	咽頭結膜熱	66	1.22	1,048
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	32	0.59	1,126
	○ 感染性胃腸炎	232	4.30	7,648
	○ 水痘	9	0.17	242
	○ 手足口病	12	0.22	137
	○ 伝染性紅斑	3	0.06	20
	突発性発しん	25	0.46	494
	○ ヘルパンギーナ	7	0.13	44
	流行性耳下腺炎	3	0.06	63
	○ RSウイルス感染症	27	0.50	968
眼科定点	急性出血性結膜炎	-	-	-
	○ 流行性角結膜炎	4	0.57	59
基幹定点	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	-	-	3
	無菌性髄膜炎	-	-	3
	マイコプラズマ肺炎	-	-	1
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)	-	-	-
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	0.00	1
報告数合計		420	0	11,863

○印は前週比増

☆5週間前からの疾患別報告数・定点当たり報告数

		5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
		(2021年19週)	(2021年20週)	(2021年21週)	(2021年22週)	(2021年23週)	(2021年24週)
インフルエンザ	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告数	10	19	4	10	18	27
	定点当り	0.19	0.35	0.07	0.19	0.33	0.50
咽頭結膜熱	報告数	65	46	77	65	68	66
	定点当り	1.20	0.85	1.43	1.20	1.26	1.22
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	33	56	57	49	49	32
	定点当り	0.61	1.04	1.06	0.91	0.91	0.59
感染性胃腸炎	報告数	289	237	233	267	189	232
	定点当り	5.35	4.39	4.31	4.94	3.50	4.30
水痘	報告数	12	11	17	11	2	9
	定点当り	0.22	0.20	0.31	0.20	0.04	0.17
手足口病	報告数	8	6	12	6	6	12
	定点当り	0.15	0.11	0.22	0.11	0.11	0.22
伝染性紅斑	報告数	-	-	1	-	2	3
	定点当り	-	-	0.02	-	0.04	0.06
突発性発しん	報告数	24	28	18	29	26	25
	定点当り	0.44	0.52	0.33	0.54	0.48	0.46
ヘルパンギーナ	報告数	2	5	3	4	3	7
	定点当り	0.04	0.09	0.06	0.07	0.06	0.13
流行性耳下腺炎	報告数	5	3	3	1	4	3
	定点当り	0.09	0.06	0.06	0.02	0.07	0.06
急性出血性結膜炎	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数	1	1	4	2	3	4
	定点当り	0.14	0.14	0.57	0.29	0.43	0.57
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数	-	-	1	1	-	-
	定点当り	-	-	0.08	0.08	-	-
無菌性髄膜炎	報告数	1	-	-	-	1	-
	定点当り	0.08	-	-	-	0.08	-
マイコプラズマ肺炎	報告数	1	-	-	-	-	-
	定点当り	0.08	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	-	-	-	-	-	-
	定点当り	-	-	-	-	-	-



